

9A

武士の台頭と鎌倉幕府①

氏名	組番	得点
		50

1 〈武士の成長〉 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- 地方の豪族や都の武官の中から□がおこり、貴族を主人として、多くの家来を従えて武士団を形成した。
- 武士団の中でも、天皇の子孫である□と平氏が特に有力であった。
- 荘園では、(1)が農民から□を集めて貴族などに納めるかわりに、その土地を支配する権利を保護してもらった。

1 ((2)4点, 他各3点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

2 〈武士の政権の成立〉 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- 白河天皇は、位をゆずって□になった後も、摂政や関白をおさえて政治を行った。
- 京都で起こった保元の乱と□の乱を経て、平清盛が勢力を広げた。
- 伊豆(静岡県)の□は、平氏に対抗して兵を挙げ、武士を集めて関東地方を支配した。

2 ((3)4点, 他各3点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

3 〈鎌倉幕府の成立と執権政治〉 次の問いに答えなさい。

- 将軍が配下の武士の領地を保護したり、新たな領地をあたえたりしたことを何というか。
- 鎌倉幕府で北条氏が代々受けついで、将軍を補佐する地位を何というか。
- 承久の乱をしずめた後、鎌倉幕府は朝廷を監視するため京都に何を置いたか。
- 評定と呼ばれる会議を設けて、これを制度化した人物はだれか。

3 ((1)4点, 他各3点×3)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

4 〈武士と民衆の生活〉 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- 武士は「□の道」や「武士(もののふ)の道」と呼ばれる、武士としての心構えを重んじた。
- 鎌倉時代には、草や木を焼いた灰が、□として使われていた。

4 (各3点×2)

(1)	
(2)	

5 〈鎌倉時代の文化と宗教〉 次の問いに答えなさい。

- 「新古今和歌集」に歌が収められている歌人のうち、「方丈記」を著したのはだれか。
- 運慶が制作し、東大寺の南大門に収めた力強い彫刻作品を何というか。
- 宋から伝えられた禅宗のうち、栄西が広めた宗派は何か。

5 ((1)3点, 他各4点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

9B

武士の台頭と鎌倉幕府①

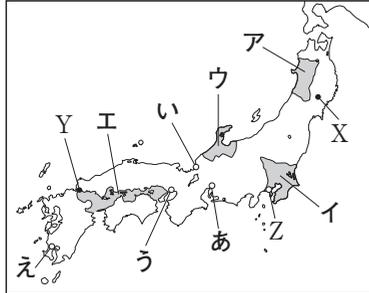
氏名	組番	得点
		50

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 次の2人の人物が反乱を起こした地域を、地図中のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 平将門 ② 藤原純友

(2) 奥州藤原氏は、地図中のXを拠点に、東北地方に勢力を築いた。Xの地名を答えなさい。



(3) 平清盛が中国の宋と貿易を行うために整備した港を、地図中のあ～えから選び、記号で答えなさい。

(4) 地図中のYでの戦いで平氏をほろぼした人物を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 源義経 イ 源実朝
ウ 源義仲 エ 源義家

(5) 地図中のZに開かれた幕府について、次の問いに答えなさい。

- ① 荘園や公領の管理、年貢の取り立てなどの仕事にあたった役職を何と
いうか。
② 次のア～ウを年代の古いものから順に並べ、記号で答えなさい。
ア 奥州藤原氏が攻めほろぼされた。
イ 承久の乱が起こった。
ウ 北条時政が実権をにぎった。
③ 1232年の御成敗式目(貞永式目)では、主に何が定められたか。簡単に
説明しなさい。

(1)各3点×2,
他各4点×6

1	①		
(1)	②		
(2)			
(3)			
(4)			
(5)	①		
	②	→	→
	③		

2 次の文は、鎌倉時代の生活・文化に関連する漢字3字の歴史用語をまとめたものである。それぞれの□□□にあてはまる漢字3字を答えなさい。

- (1) 鎌倉時代には、同じ田畑で米と麦を交互につくる□□□が行われるようになった。
(2) 寺社の門前や交通の便利な所に□□□が開かれるようになり、米や布などの商品が売買された。
(3) 親しみがある民衆の文化が発達し、兼好法師は「□□□」という随筆を著した。
(4) 法然は、一心に「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えれば、だれでも極楽浄土に生まれ変わると説き、□□□を開いた。
(5) 日蓮は、法華経の題目(南無妙法蓮華経)を唱えれば、人も国家も救われると説き、□□□を開いた。

2 (各4点×5)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

10A

武士の台頭と鎌倉幕府②

氏名	組番	得点
		50

1 〈武士の成長〉 次の問いに答えなさい。

- 地方の武士たちが貴族を主人として、多くの家来を従えて形成したまとまりを何というか。
- 東北地方の平泉(岩手県)を拠点として栄えた一族は何氏か。
- 国司が支配していた、莊園以外の土地を何と呼んだか。

1 ((2)4点, 他各3点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

2 〈武士の政権の成立〉 次の問いに答えなさい。

- 白河天皇が、位をゆずって上皇になった後も、摂政や関白をおさえて行った政治を何というか。
- 後白河天皇に味方した平清盛と源義朝が勝利した、京都で起こった戦乱を何というか。
- 後白河上皇の政治を助けた平清盛が、武士として初めて就いた朝廷の高い地位を何というか。

2 ((3)4点, 他各3点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

3 〈鎌倉幕府の成立と執権政治〉 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- 將軍である源頼朝に忠誠をちかった武士は、□と呼ばれた。
- 源実朝が殺害されると、□①上皇は幕府をたおそうとして兵を挙げたが敗れた。この戦いを□②という。
- 北条泰時は1232年に□を定め、評定における判断の基準を設けた。

3 ((3)4点, 他各3点×3)

(1)	
(2)	①
(3)	②

4 〈武士と民衆の生活〉 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- 武士は、一族の長である□が中心となって子や兄弟をまとめ、団結していた。
- 鎌倉時代には、□製の農具が広まり、農作物の収穫が増えた。

4 (各3点×2)

(1)	
(2)	

5 〈鎌倉時代の文化と宗教〉 次の問いに答えなさい。

- 源平の争乱で焼かれた後、鎌倉時代に再建され、金剛力士像が収められた東大寺の門を何というか。
- 「徒然草」という随筆集で民衆の姿をえがいたのはだれか。
- 栄西や道元が宋から伝えた、座禅によって自分の力でさとりを開こうとする教えをまとめて何というか。

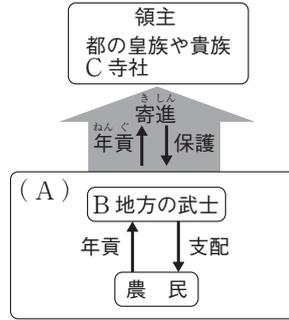
5 ((3)3点, 他各4点×2)

(1)	
(2)	
(3)	

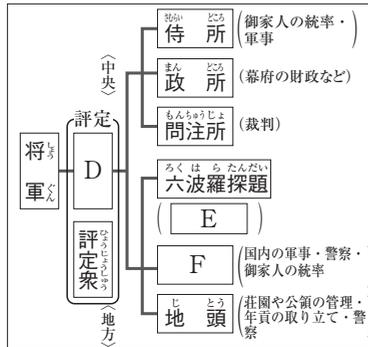
氏名	組番	得点
		50

1 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料 I 中の A は、都の皇族や貴族、寺社が支配した領地である。A に共通してあてはまる語句を答えなさい。
- (2) 資料 I 中の B について、12 世紀前半に瀬戸内海せとないかいの海賊をしずめて、西日本に勢力を築いた武士団を何というか。
- (3) 資料 I 中の C について、当時の大規模な寺院は、武装した僧をかかえていた。下線部の僧を何というか。
- (4) 資料 II は、何という幕府の仕組みを表したもののか。
- (5) 資料 II 中の D には、将軍を補佐する地位があてはまる。これを何というか。
- (6) 資料 II 中の六波羅探題ろくはわたんだいは、1221 年に起こった戦乱の後に京都に置かれた。E にはどのような説明をあてはめればよいか、簡単に答えなさい。
- (7) 資料 II 中の F にあてはまる役職を、次から選び、記号で答えなさい。



資料 II



- ア 里長りちやう イ 守護しゆご
- ウ 郡司ぐんじ エ 大宰府だいさいふ

1 ((1) 4 点, 他各 5 点 × 6)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 資料 I 中の A の側は地頭、B の側は領主の領地とされている。このような、領地をめぐる、幕府による裁定を何というか。
- (2) 鎌倉時代につくられ、藤原定家ふじわらのさだいえや西行さいぎやうなどの歌が収められた歌集を何というか。
- (3) 資料 II の軍記物を各地に語り広めた、盲目の人々を何と呼ぶか。
- (4) 法然ほうねんの弟子である親鸞しんらんが農村に広めた、阿弥陀如来を信じる心を強調した仏教の宗派を何というか。



資料 II

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらわす。

2 (各 4 点 × 4)

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	